

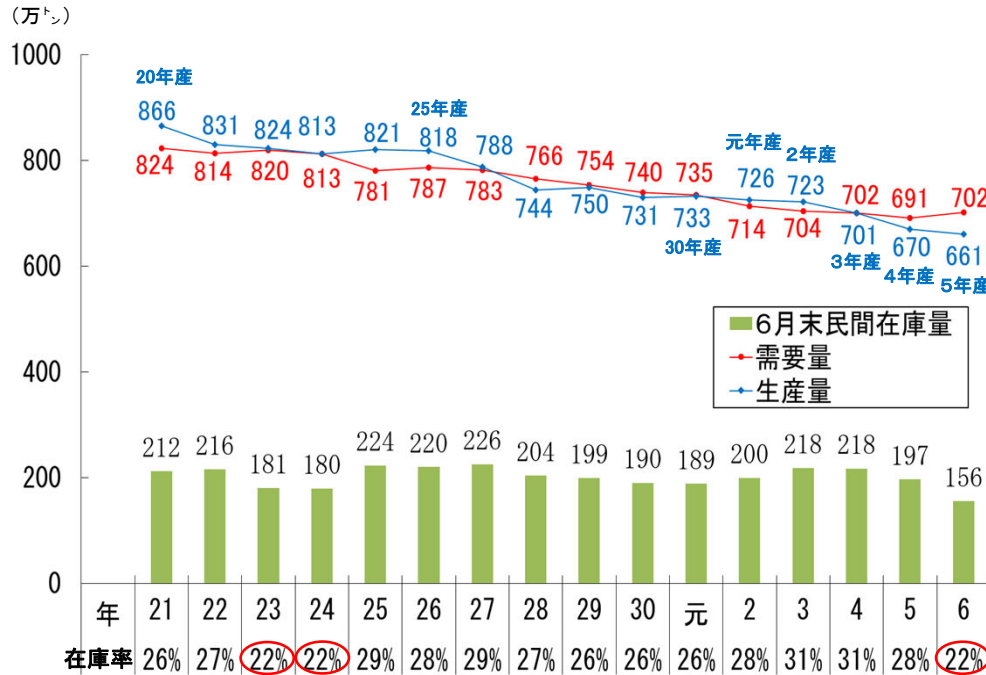
米の需給状況の現状等について

令和6年10月30日
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点

米の需給状況の現状について

(1) 最近の米の需給動向(需要量、生産量、民間在庫)

- 最近の米の需給は、令和5年産米の需要が堅調に推移したことから、令和6年6月末の在庫量は近年では低い水準となっている。
- 一方で、在庫率(在庫量/需要量)でみれば平成23年、24年と同水準であり、全体需給としては逼迫している状況にはなく、十分な在庫量が確保されている。既に新米の出回りも始まっているが、引き続き、出荷、在庫等の状況を把握。



(参考)

需要が堅調であること(昨年より11万トンの需要増)の要因は以下のとおり。

- ①食料品全体の価格の上昇が続く中、米の価格が相対的に上昇が緩やか
- ②インバウンド等の人流の増加
- ③高温・渇水の影響により、精米歩留まりが低下

(※上記の需要量・生産量は玄米ベース。精米歩留まりの低下は玄米需要量の増加につながる。)

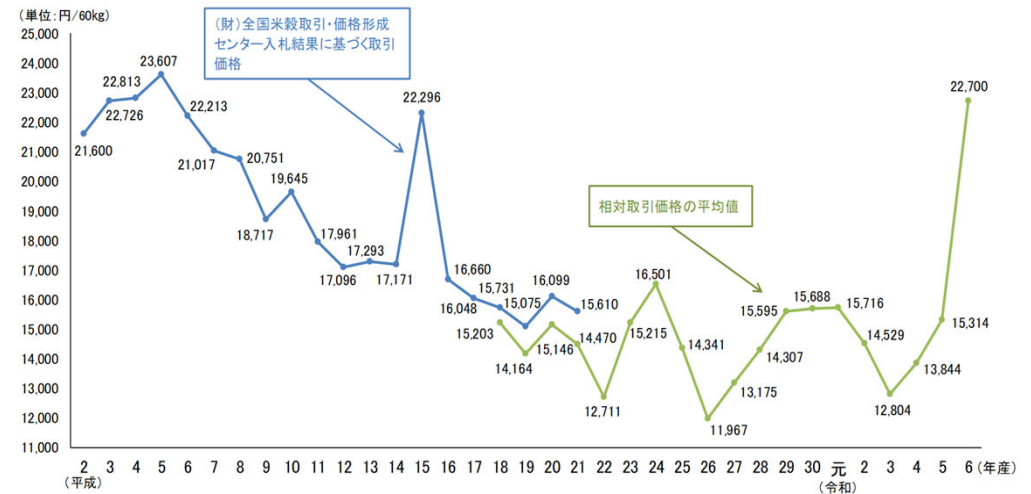
<消費者物価指数の推移>

(令和2年=100、指数)

	R2年	3年	4年	5年	6年 (1~7月)
食料	100.0	100.0	104.5	112.9	116.1
米類	100.0	96.8	92.6	96.1	103.9
パン	100.0	99.5	109.6	118.4	121.2
麺類	100.0	99.7	107.1	118.9	121.8

(2) 米の価格の推移

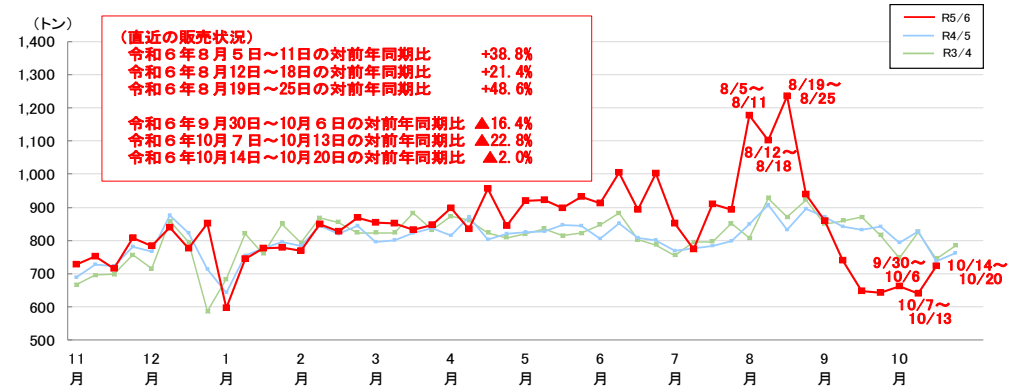
- 令和6年産米の9月の相対取引価格は、全銘柄平均で22,700円/60kg。
- 出荷業者と卸売業者等の間の取引価格として22,000円/60kgを超えたのは、平成3~6年産、平成15年産以来。



注: 年産別平均価格(令和5年産は、出回りから令和6年9月までの速報値、令和6年産は、令和6年9月の速報値)。

(3) スーパーでの販売数量の推移(POSデータ)

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 令和6年8月は南海トラフ地震臨時情報(8月8日発表)、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により、8月5日以降伸びが著しい週が3週継続。
- 9月2日以降の週は前年を下回る水準で推移し、10月14日の週は対前年同期▲2%。



資料: (株)KSP-SPが提供するPOSデータ(全国約1,000店舗のスーパー、生協等)に基づいて農林水産省が作成。

注: 週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは異なる場合がある。

(参考)

5 / 6 年の主食用米等の需給実績（速報値）及び 6 / 7 年の主食用米等の需給見通し（7月30日公表）

（単位：万 t）

令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197
	令和5年産主食用米等生産量	B	661
	令和5/6年主食用米等供給量計	$C = A + B$	858
	令和5/6年主食用米等需要量	D	702
	令和6年6月末民間在庫量	$E = C - D$	156

705万t（在庫量の確定による変更）

153万t（在庫量の確定）

（単位：万 t）

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	E	156
	令和6年産主食用米等生産量	F	669
	令和6/7年主食用米等供給量計	$G = E + F$	825
	令和6/7年主食用米等需要量	H	673
	令和7年6月末民間在庫量	$I = G - H$	152

9/25現在の令和6年産米の作況
（やや良（102））

153万t

683万t 予想収穫量 683.3万t
（125.9万ha×544kg）

836万t

674万t

162万t

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、
S B S方式による輸入米は含まれない。

注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考)

鹿児島県における水稻の生産状況

【令和3年産～令和5年産】

	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	17,100 ha 	16,600 ha 	15,800 ha
	81,900 t	79,300 t	76,600 t
加工用米	1,451 ha 	1,432 ha 	1,389 ha
	7,033 t	6,953 t	6,750 t
米粉用米	11 ha 	14 ha 	12 ha
	53 t	71 t	60 t
飼料用米	728 ha 	835 ha 	880 ha
	3,449 t	3,985 t	4,188 t
総 計	19,234 ha 	18,762 ha 	18,074 ha
	92,515 t	90,179 t	87,678 t

資料：農林水産省九州農政局「作柄概況」及び「加工用米等認定データ」を基に作成

作柄表示地帯別の水稻の生産状況

【令和3年度～令和5年度】

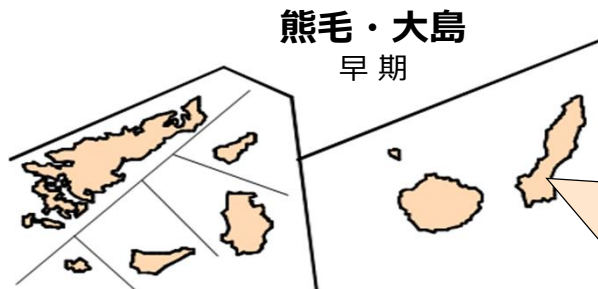
	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	4,191 ha ▼ 20,900 t	4,068 ha ▼ 20,000 t	4,005 ha 20,100 t
加工用米	620 ha ▼ 3,079 t	606 ha ▼ 3,008 t	575 ha 2,863 t
米粉用米	6 ha ▲ 29 t	8 ha ▼ 41 t	2 ha 11 t
飼料用米	173 ha ▲ 849 t	195 ha ▼ 958 t	177 ha 877 t
計	4,989 ha ▼ 24,857 t	4,877 ha ▼ 24,007 t	4,759 ha 23,851 t



	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	4,921 ha ▼ 23,800 t	4,762 ha ▼ 23,200 t	4,624 ha 23,700 t
加工用米	271 ha ▲ 1,331 t	272 ha ▲ 1,336 t	281 ha 1,366 t
米粉用米	3 ha → 13 t	3 ha ▲ 13 t	3 ha 16 t
飼料用米	191 ha ▲ 930 t	236 ha ▼ 1,166 t	230 ha 1,144 t
計	5,386 ha ▼ 26,074 t	5,273 ha ▼ 25,715 t	5,137 ha 26,226 t

	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	3,087 ha ▼ 13,900 t	2,994 ha ▼ 13,700 t	2,847 ha 12,900 t
加工用米	278 ha ▼ 1,294 t	259 ha ▼ 1,205 t	224 ha 1,035 t
米粉用米	0 ha ▲ 0 t	1 ha ▲ 6 t	5 ha 23 t
飼料用米	192 ha ▲ 876 t	210 ha ▲ 957 t	270 ha 1,227 t
計	3,557 ha ▼ 16,070 t	3,464 ha ▼ 15,868 t	3,347 ha 15,185 t

	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	4,123 ha ▼ 20,400 t	3,965 ha ▼ 19,500 t	3,642 ha 17,100 t
加工用米	266 ha ▲ 1,259 t	279 ha ▲ 1,335 t	310 ha 1,486 t
米粉用米	2 ha → 11 t	2 ha ▼ 11 t	2 ha 10 t
飼料用米	123 ha ▲ 584 t	138 ha ▲ 660 t	141 ha 676 t
計	4,514 ha ▼ 22,254 t	4,385 ha ▼ 21,506 t	4,094 ha 19,272 t



	令和3年産	令和4年産	令和5年産
主食用米	723 ha ▼ 2,980 t	692 ha ▼ 2,770 t	674 ha 2,880 t
加工用米	16 ha ▼ 70 t	16 ha ▼ 69 t	0 ha 0 t
米粉用米	0 ha — 0 t	0 ha — 0 t	0 ha 0 t
飼料用米	49 ha ▲ 210 t	57 ha ▲ 244 t	62 ha 264 t
計	788 ha ▼ 3,260 t	765 ha ▼ 3,083 t	736 ha 3,144 t

注：上記に試験研究機関等のデータは含まれておりません。

主食用米の「生産の目安」に対する実績の推移

	令和3年産	令和4年産	令和5年産	令和6年産
生産の 目安 ①	100,420 t (20,750ha)	99,830 t (20,580ha)	98,940 t (20,400ha)	90,000 t (18,600ha)
実績 (見込) ②	81,900 t (17,100ha)	79,300 t (16,600ha)	76,600 t (15,800ha)	76,800 t (15,600ha)
②－①	△ 18,520 t	△ 20,530 t	△ 22,340 t	△ 13,200 t

資料：鹿児島県提供「生産の目安」を基に作成

- ・ 令和7年産からは、プロダクトアウトではなく、**マーケットイン**の考え方で、

農業者・農業者団体を主体とした、
主食用米、加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS、麦、大豆などの
需要に応じた生産を推進。

(例えば、鹿児島県民が食べる米や、県内の加工用需要者の原料は
鹿児島県内で生産など)

- ・ 行政、農業再生協議会は、**需要に関する情報、加工用需要者等のニーズの情報**があれば、それを**農業者・農業者団体に提供**するなど、**需要に応じた生産**を支援。
- ・ **安定した生産体制の構築**。(例えば、集落営農も)

資料に関するお問い合わせは、こちらにお願いします。

【問い合わせ先】

担当者名 : 萩原、 梶木

メー ル : chikayoshi_hagiwa030@maff.go.jp
masanori_kajiki210@maff.go.jp

電話番号 : 0 9 9 – 2 2 2 – 7 5 6 3